

## 大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議の報告について

## 1. 目的

大台ヶ原・大杉谷周辺地域におけるニホンジカ保護管理に関する関係機関の情報共有と、より広域的な視点での保護管理に向けた取組を進めることを目的とする。

## 2. 実施日

平成 25 年 12 月 12 日（木）

## 3. 場 所

京都御苑管理事務所会議室

## 4. 関係機関

林野庁近畿中国森林管理局

奈良県

三重県

上北山村

大台町

川上村（欠席）

紀北町（欠席）

環境省近畿地方環境事務所（事務局）

## 5. 内 容

## (1) 各関係機関の取組及び報告について

各機関で実施されているニホンジカ対策の取組（有害捕獲）やニホンジカ保護管理（大台ヶ原自然再生事業等）に関することについて報告を行い、情報共有を図った。

## ＜報告の概要＞

## ① 近畿中国森林管理局

- ・平成 24 年度末に策定した「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針」の概要の説明。
- ・平成 25 年度に大杉谷国有林において実施した、糞塊調査や胃内容物調査等のニホンジカの生息状況及び森林被害の現況把握調査等について説明。
- ・糞塊調査の結果、大杉谷のシカ個体数は年々増加傾向、増加率は、西南日本全体での増加率とほぼ同程度。
- ・胃内容物調査の結果（秋季4頭）、ササが主要な餌資源となり、スズタケの衰退が懸念される。

## ② 三重森林管理署

- ・大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策について説明。
- ・正木ヶ原周辺において、ボランティアによる剥皮防止ネットの巻き付け、パッチディフェンスを設置。

- ・シカ食害による未立木地において、森林整備事業（丸太筋工、植生保護柵工、植栽工）を実施。
- ・大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針実施検討委員会を開催。来年度からの捕獲を検討。

### ③ 奈良県

- ・平成 25 年度奈良県における鳥獣害対策関係事業、特定鳥獣保護管理計画に基づく適正生息数及び捕獲数について説明。
- ・糞粒調査は県職員が実施。

### ④ 三重県

- ・特定鳥獣保護管理計画に基づく目標と捕獲数の推移について説明。
- ・捕獲計画の再検討に向けて、糞粒法に加え、ベイズ法での個体数推定を実施。
- ・関係機関による広域一斉捕獲について国へ政策提案を行ったこと、三重県内では大台町と多気町で試験的に一斉捕獲を実施していること、名張市と奈良県宇陀市と協議中であること等を説明。

### ⑤ 上北山村

- ・上北山村有害鳥獣被害対策（有害捕獲数、捕獲奨励補助金等）について説明。
- ・上北山村獣肉加工施設を設置、運用を開始したこと、捕獲されたニホンジカの利活用を図っていく。

### ⑥ 大台町

- ・有害鳥獣捕獲報奨金制度及び捕獲数、大紀町との一斉捕獲の実施について説明。

### ⑦ 近畿地方環境事務所

- ・平成 25 年度の大台ヶ原ニホンジカ個体数調整の実施内容等について説明
- ・捕獲実績は79頭、そのほとんどがくくりわなによるものであること、出産のピークを過ぎた7月以降の捕獲開始となったため、幼獣の捕獲が多かったこと、このため再度捕獲目標数のシミュレーションを実施し、当初70頭の捕獲目標を変更し追加捕獲を行ったこと等を説明。

## (2) 大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理における連携について

これまで連携して実施した内容（平成 22 年度：区画法による生息密度調査、平成 23 年度：糞塊法及び糞粒法による生息密度の差に関する調査、平成 24 年度：GPS テレメトリー調査による解析結果の共有）について説明し、今後の連携について意見交換を行った。

特に、大杉谷国有林で、平成 26 年度に試験捕獲、平成 27 年度から本格捕獲を開始することを踏まえ、大杉谷、大台ヶ原、及び周辺地域において、銃器による一斉捕獲の可能性について議論し、引き続き意見交換を行っていくこととした。

また、効果的な捕獲手法・技術（くくりわなの設置等）を普及させていくことや捕獲者の育成・確保について協力していくこととした。